


[TOPに戻る](#)

HAMLOG E-Mail QSL Ver5.01

[【本ソフトの相談室はこちら】](#)[ら】](#) [【皆さんのハムログQSL】](#)[hQSL501.exe \(2023/09/14\) 半自動インストール版](#)のダウンロード [hQSL501.zip \(2023/09/14\) ZIP書庫版](#)のダウンロード[電子QSLとログの照合](#) [受信した電子QSL表示](#) [送信済み電子QSL](#) [hQSL通信設定と各局の参考例](#) [電子QSL環境設定](#) [QSLの定義](#) [Rig/Antの編集](#)[バックアップ](#) [ビギナーモード](#) [Q & A](#) [メール特例](#) [電子QSL送受信の流れ\(PDF\)](#) [改訂履歴と](#)[その後の進捗](#) [HAM World 2023年1月号で紹介](#)

- ◎ [HAMLOGユーザー登録済み](#)であれば直ちにhQSL登録・運用ができ、HAMLOGユーザーリストに が表示される前でもhQSLによる電子QSLの交換ができます。
- ◎ ブラウザを使うことなくhQSLヘルプメニューのバージョン情報から[最新版の確認、ダウンロードとインストール](#)ができます。
- ◎ [Yahoo](#)、[Gmail](#)、[ぷらら](#)、[BIGLOBE](#)、[OCN](#)、[@nifty](#)、[So-net](#)、[eo光](#)、[Sakura](#)は、メールアドレスとパスワードだけでほぼ設定完了です。
- ◎ [半年送信していない](#)とhQSL登録が抹消されます。(でも、すぐに再登録可能)
- ◎ 慣れていない方は、**QSL定義**ファイルを使わない[【ビギナーモード】](#)でお試してください。それでも十分使えます。
- メールによるhQSLやHAMLOGの問い合わせがありますが、作者一人ではとても対応できません。返事は無理です。

(1) はじめに [【開発に至った経緯】](#)

HAMLOG E-Mail QSL (略して**hQSL**) は、電子メールによりJPEG画像のQSLを送受信するアプリで、HAMLOGユーザー登録済みの局のみ使用可能です。

HAMLOGユーザー登録者に限り使用できるガラパゴスな電子QSLシステムですが、もっぱら作者の趣味と技術的な興味で作成したものであり、紙のQSLカードや[eQSL.cc](#)を否定するものではありません。

電子QSLの送受信に特化した電子メールアプリです。アプリ下部に表示されている文章がメール本文で、電子QSLはメールの添付ファイルです。

(2) 使用条件

hQSLは、[HAMLOGユーザーリストへ登録済み](#)の局に限り使用できます。いわゆる、フリーソフトです。

そして、hQSLアプリの[通信設定画面](#)にある[サーバに登録・保存](#)ボタンをクリックして登録した方に限り、電子QSLの送受信ができます。

(3) 動作環境

hQSLは、Windows10上で開発していますので、Windows10やWindows11での使用を推奨します。一応、Windows 7 以上であれば動作する模様です。

一緒に動作させるTurbo HAMLOG/Win (以下「HAMLOG」という。) は、Ver5.30以上です。また、これに付属のHAMLOG50.DLLが必要です。

hQSLは、HAMLOGと同じフォルダにインストールすることを推奨しますが、違うフォルダにインストールする場合は、HAMLOG50.DLLをコピーしてください。

HAMLOGユーザーリストは、最新のものを使用してください。例えば、1ヶ月前のHAMLOGユーザーリストを使用していると、半月前に登録した局は掲載されていないので送信しません。

ウイルス対策ソフトは、[Q 5にあるとおり例外設定](#)をしないと警告が出る、若しくはhQSLがうまく動作しないことがあります。また、管理者権限で動作させた方が良い場合があります。

(4) Windowsのセキュリティについて

拙作のソフトには、デジタル署名(ソフトウェア発行元証明書)がありませんので、発行元が不明な

ソフトとして扱われます。

メール送受信が上手くいかない場合は、ウイルスバスターやノートンなどが[不正なソフトとして誤検知している](#)ことがありますので、設定をご確認ください。

また、[管理者権限で動作させてみる](#)とか、[WindowsのUAC（ユーザーアカウント制御）設定を最低（無効）](#)にしてみるなどお試しください。なお、作者は一般ユーザー権限でUACを最低（無効）にして動作させています。

(5) おすすめのメールアドレスは？

hQSL専用のメールアドレスを用意するのがお勧めです。

普段使っているメールアドレスをhQSL用に使うと管理が大変です。hQSL専用のメールアドレスを使用しましょう。

また、JPEG画像をメール送信するため迷惑メール扱いされることがあります。迷惑メール防止機能は無効にしておいてください。

作者個人が開発用としてhQSL専用を使用しているメールアドレスは、[@nifty](#)、[Yahooメール](#)、[Gmail](#)、[さくらインターネット](#)です。

(6) まずは通信設定（メールの設定：簡単設定は[こちら](#)）

メニューのオプション(O) → [E-Mail QSL通信設定\(C\)](#)と進んでください。 [電子QSL環境設定\(K\)](#)もあります。

E-Mail QSL通信設定に未設定の項目がある場合は、hQSLの起動直後に通信設定が勝手に表示されます。

【参考】[Yahoo!](#)・[Gmail](#)・[Sakura](#)の**設定詳細**（[Gmailのセキュリティ強化](#)について／各局の参考例）

(7) [ファイル\(F\)メニュー](#)から

初めての方は[ビギナーモード](#)がお勧めです。

① 電子QSLの素材としたいJPEG画像は、あらかじめ電子QSL専用のフォルダにコピーしてまとめておきましょう。

② [ファイル\(F\)メニュー](#)を開き、電子QSLの素材としたいJPEG画像を登録します。（[ビギナーモード](#)）

自分のコールサイン・QTH・オペレータネームなどは、あらかじめ画像に書き込んでおくとよいでしょう。

[ファイル\(F\)メニュー](#)を開いて好きなだけ登録してください。最大で30個まで登録できます。

※**QSL定義**に[チェックを入れた場合](#)は、メニューのJPEG画像ファイルを開く(O)は**QSL定義**ファイルを開く(O)に変わります。

③ 次に、**QSOデータ**を開く(Q)で登録します。

HAMLOG で使用して



いるHAMLOG.MSTファイルを開きます。これと同時に同じフォルダにあるHAMLOG.HDBファイル(QSOデータ)もオープンされます。

登録すると、メニューにチェックマークが付きます。

※HAMLOGと同じフォルダにインストールした場合は、③の操作は必要ありません。

④ 次に、HAMLOGユーザーリストを開く(U)で登録します。

HAMLOGで使用しているUserlist.usrファイルを開きます。

登録すると、メニューにチェックマークが付きます。

※HAMLOGと同じフォルダにインストールした場合は、④の操作は必要ありません。

⑤ 次に、リグ・アンテナデータを開く(A)で登録します。

通常、HAMLOGでQSLカード印刷時に使用しているRigAnt.DATというファイルです。

登録すると、メニューにチェックマークが付きます。

Rig/Antボタンで編集することができます。

ここで開かずにキャンセルすると、ファイル登録が解除されます。

普段、RigAnt.DATを使っていない場合は、⑤を省略しても大丈夫です。

※受信した電子QSLが置かれるフォルダは、初期設定ではhQSLのフォルダ内に受信というフォルダが作成されます。

相手方から届いたメール本文は、QslMsgとい

うフォルダに置かれます。**QslMsg**フォルダは、受信フォルダと同じ階層に作成されます。
 ※送信済みの電子QSLが置かれるフォルダは、初期設定では**hQSL**のフォルダ内に**送信**というフォルダが作成されます。

- ・メール本文を開く(M)
相手方に送る[メールの文章 \(メモ欄\)](#)を開きます。テキストファイルです。
- ・メール本文に名前を付けて保存(N)
相手方に送るメール本文に別の名前を付けて保存することができます。初期設定では**QslMessage.txt**です。
- ・[電子QSLのバックアップ](#)
ファイルのタイムスタンプを比較してコピーします。新たなファイルやタイムスタンプが新しいファイルだけコピーします。
- ・受信した**QSL**のフォルダ設定(R)・送信済み**QSL**のフォルダ設定(S)
初期設定では**hQSL**をインストールしたフォルダに**受信**、**送信**というフォルダが作成されますが、ここで別のフォルダに変えることができます。
- ・受信フォルダの表示(J)・送信フォルダの表示(T)
Windowsの機能を利用してフォルダ内を表示します。アイコンを大きく表示させると見やすくなります。

(8) [JPEG画像\(J\)メニュー](#) **※QSL定義**にチェックマークが入っていないときに有効となります。[ビギナーモード](#)です。

(9) [QSL定義\(Q\)メニュー](#) **※QSL定義**にチェックマークが入っていると有効になります。(QSLの定義)

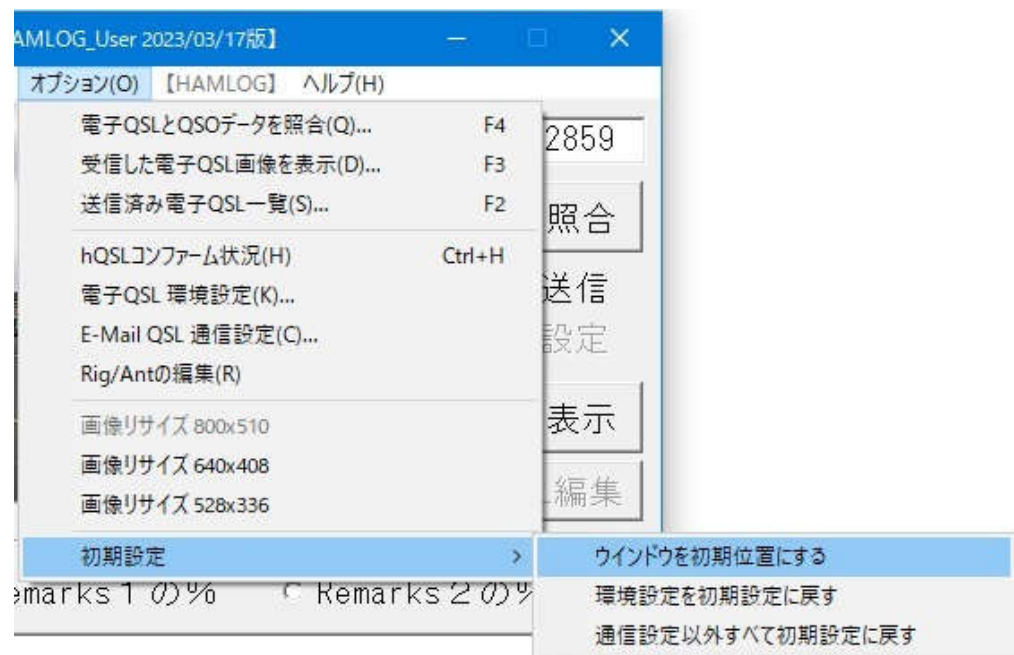
(10) [オプション\(O\)メニュー](#)

(11) [【HAMLOG】メニュー](#) (Alt+Lキーでも可)

HAMLOG起動中に使用可能となります。HAMLOGで表示されている局に対して電子QSLを送るなど、特定の操作をすることができます。

(12) [ヘルプ\(H\)メニュー](#)
取扱説明書 このページを表示します。

[通信設定](#)の説明
バージョン情報
最新版のリリース確認、ダウンロードとインストールができます。
表示内容は、プログ



ラムのファイル名、
受信・送信フォル
ダ、QSOデータ、
ユーザリスト、リグ
アンテナファイルで
す。

(1 3) **QSL送信ボタン** [電子QSLメールを送信](#)します。(1999年以前の
交信は送信対象外)

□ **確認しながら送信**では、送信QSLを一個ずつ確認しながら送信する
ことができます。

□ **常に最終番号設定**では、HAMLOGを起動中は送信レコード番号範
囲指定に常に最終番号が入ります。

HAMLOG起動中はHAMLOGのレコード件数の変化を監視し、最終
レコード番号が入ります。

1局交信するごとに送信するとき便利です。

(1 4) **照合ボタン** [電子QSLとQSOデータを照合](#)の機能です。

(1 5) **QSL受信ボタン** [電子QSLメールを受信](#)します。

(1 6) **表示ボタン**

[受信した電子QSL画像を表示\(D\)](#)と同じ機能です。

受信した電子QSL画像を表示します。画像上で右クリックし、並び順
を変えることができます。

Shiftキーを押しながら**表示**ボタンをクリックすると、ファイル時刻
の新しい順で表示されます。

(1 7) **□ QSL定義** ※チェックを入れなければ**ビギナーモード**です。

QSL定義ファイルに基づき、電子QSLを作成します。この機能に関係
のない機能は無効となり、
グレーアウト表示となります。

QSL編集ボタンにより、[定義ファイルの内容を編集](#)します。

定義ファイルは、縦横の座標以外は**HAMLOG**のQSLカード印刷定義
ファイルとほぼ同じです。

(こんなにデザインが自由な電子QSLは、たぶん他に無いと自画自賛
しています。Hi)

(1 8) **運用場所の出力** ※**QSL定義**をチェックした場合は機能しませんが、コンボボックスの内容は**定
義ファイル**の**!LC**で出力することができます。

(1 9) **RST表記** ※**QSL定義**をチェックした場合は機能しません。

(2 0) **QSL備考** 電子QSLのRemarks欄に書き込まれる文字列です。

※履歴を削除したいときは、ドロップダウンした状態で**Delete**キーを押してください。

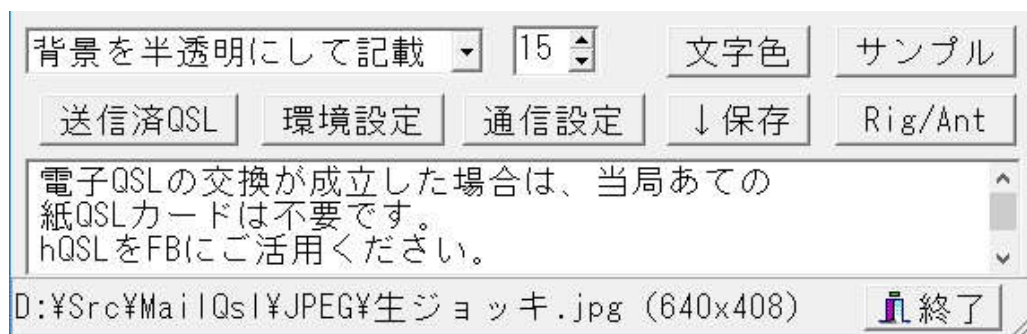


(2 1) [背景を半透明にして記載](#)

※**QSL定義**をチェックした場合は機能しません。

(2 2) [サンプルボタン](#)

最近のQSOをサンプルとして、画像を表示します。



(2 3) [Rig/Antボタン](#) [リグやアンテナの登録情報を編集](#)します。

(2 4) [メモ欄 \(メール本文\)](#)

※**QSL定義**をチェックした場合は、**!Bo** 変数で文字列を取り出すことができます。

ここに記載した内容は、メール本文として相手に届きます。

(2 5) 自局のリグ・アンテナ等について

HAMLOGで使用しているリグ・アンテナ情報を読み込みます。 [RigAnt.DAT](#)というファイル名です。

Remarks 2 かRemarks 1 に **Rig#**数字 が指定してあれば、その数字の行のリグ・アンテナ情報。

Remarks 2 かRemarks 1 に **Rig=**文字列が指定してあれば、**Etc**欄の文字列と一致する行のリグ・アンテナ情報。

Rig#とRig=が無ければ、一致する周波数の行のリグ・アンテナ情報。

(2 6) QSOデータの共有オープンについて

HAMLOG側が[環境設定 2 の設定により](#)、[QSOデータの共有オープン](#)で動作しているときは、**hQSL**も共有オープンで動作します。メニューの右端に共有と表示します。

これは、**HAMLOG**と**hQSL**が同時にQSOデータを使用することとなります。

この場合、**hQSL**で電子QSL発行済みや受領済みマークを書き込んでも、HAMLOGの表示には反映されません。

[HAMLOGの再読み込み](#)をクリックして再表示させる必要があります。

通常は、共有オープンの機能を使わなくても、HAMLOGで使用中のQSOデータをhQSLで使用することができます。

なお、共有オープンする／しないにかかわらず、**hQSL**で**QSL送信**や**照合処理**など時間のかかる処理中は、HAMLOG側の操作は[避けた方がよい](#)でしょう。おそらくエラーになります。

(2 7) ファイルの説明

MailQSL.EXE 実行ファイルです。HAMLOG E-Mail QSL アプリの本体です。(Delphi 3.1Jで作成)

hQslInst.EXE インストーラです。Turbo HAMLOG/Winのインストーラを流用(Visual C++ 5.0で作成)

nMail.DLL メール送受信ライブラリです。

MailQSL.INI 本ソフトが生成する設定ファイルです。本ソフトの設定情報が保存されていますので、たまにバックアップを取ってください。

(2 8) 動作環境

- ・ Windows11 Pro(64)22H2、Windows10 Home(64)22H2 上で開発し、動作確認しています。

Windows10、Windows11での使用を推奨します。

UACは最低にし、一般ユーザー権限で動作させています。

- ・ [Turbo HAMLOG/Win Ver5.30以上](#)との併用
- ・ 最新のHAMLOGユーザーリストを使用

(29)謝辞

メール送受信にあたり、**nMail.DLL**を使用させていただきました。

nMail.DLLは、[有限会社軟式](#)様が著作権を有する製品です。個人的な使用やフリーソフトへの添付は、フリーとのこととす。

HAMLOG E-Mail QSLに関する問い合わせは、同社にしないでください。

動作確認にあたり、私の所属する[じゃぼんひなたぼっこの会 JIILB会長](#)をはじめ、同会の皆さんにテストしていただきました。

本ソフトの作者は、[JG1MOU](#)です。

(30)改訂履歴 [\(2020/04/19にベータ版を公開してからの履歴\)](#)

その後の進捗状況 (ベータ版) [MailQSL.zip](#) 2023/10/14 17:30 ※Ver5.01に上書きしてください。

- ・ 環境設定～QSL送信系～デジカメ写真の自動整形 に"整形なし"を追加。
自動整形しないので、いくらか綺麗な画像です。
- ・ ヘッダが不正 (スパム?) なメールを受信したとき、エラーとなってそれ以上受信できないので修正。

Ver5.01 2023/09/14

- ・ **Ctrl**キーを押しながら本アプリを起動させると初期位置に表示するようにした。
- ・ [どんなQSLを送ったか/届いたか表示]で4文字コールが検索できないので修正。
- ・ QRコードを表示できるようにしました。Turbo HAMLOG/Win Ver5.40に付属の ThwQRCode.DLLが必要です。
#QRCode
0,300,0,0,"https://hamlog.sakura.ne.jp/mou/MailQSL.html"

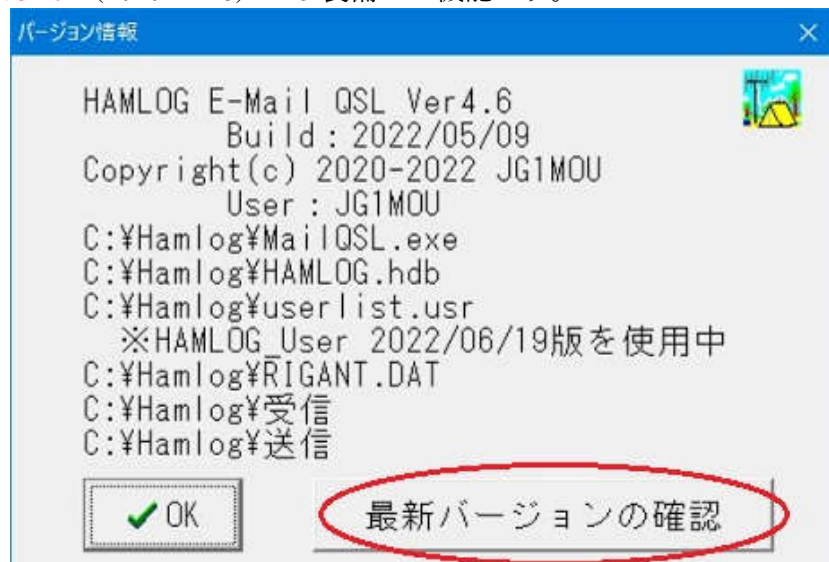
Ver5.00 2023/07/29

- ・ 環境設定に「確認メッセージの Font.Size」の選択を追加。
チェックを入れないとWindows標準のMessageBoxを使用します。
動作が不安定な場合、このチェックを外してみてください。
- ・ 初めてのインストールで RigAnt.datが同じフォルダにあっても開かなかったので修正
- ・ 通信設定で暗号化 TLS1.2、TLS1.3 の選択もできるようにしました。
TLS1.2のみ対応しているメールサーバもあるそうなので、機能追加です。

簡単なバージョンアップ方法

hQSLアプリのヘルプメニュー・バージョン情報から最新版のダウンロードとインストールができます。ブラウザを使うことなくダウンロードできます。

Ver2.7 (2020/11/28) から装備した機能です。



最新バージョンの確認 をクリックしてください。



TLS1.3ではサーバ側が対応して
いてクライアント側がWindows11
の場合に使用できます。

- ・同梱の定義ファイルを整理し、
一部追加。

Ver4.9a 2023/06/15 微調整

- ・ビギナーモードで、自局コール
サインのチェックが外れにくいの
で修正。(5/25版)

- ・送信時、下段に「hQSL用サー
バ問い合わせ中、送信中」を表示
するようにした。(5/30版)

Ver4.9 2023/04/06

- ・オプションメニューに「hQSL
コンファーム状況」を追加しまし
た。

市区町村のバンド、モード別の
コンファーム、未コンファーム状
況を表示します。

結果をエクセルに出力すること
もできます。

- ・オプションメニュー、初期設
定、フォルダ設定を初期値に戻す
を通信設定以外を初期設定に戻す
に変更

- ・環境設定のQSL受信にQSL受領
マークでHamlog.mstにCfmを追
加。

照合後のQSL受領マーク書込み
時、Hamlog.Mstファイルの該当地
域に"C"を書き込みます。

HAMLOG本体の「Wkd/Cfmマ
スターデータ集計」のような機能
ですが、モード指定はありません。

- ・メインウィンドウの常に最終番
号設定を有効にしてHAMLOGを
起動しているときは、最終番号と
いう文字を表示するよう変更。

Tnx JF2RJP

Ver4.8b 2023/02/04

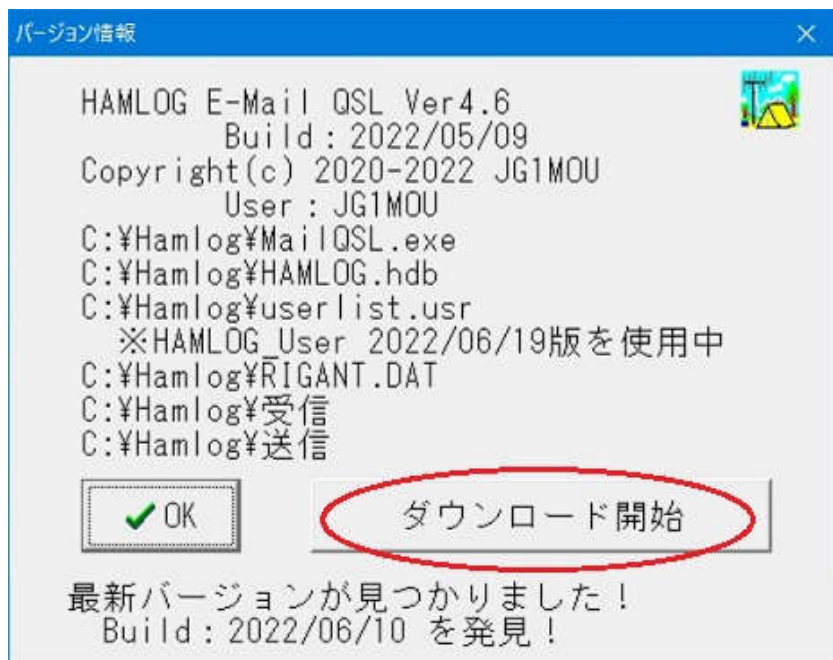
- ・受信した電子QSLを表示させ、
下部の受信テキストを編集できる
ようにしました。Tnx JM4QEX

右上に[保存]ボタンが現れ、内
容を上書き保存することができま
す。

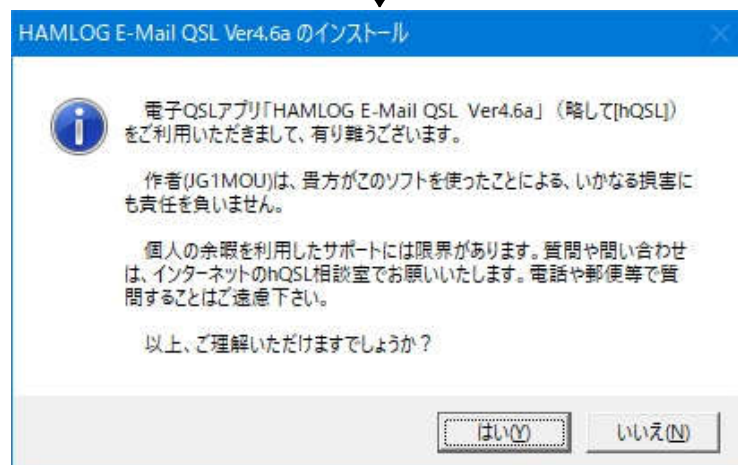
Ver4.8a 2022/11/27

- ・ [Turbo HAMLOG/Win](#)

[Ver5.37b](#)(2022/11/27)以降に対応
し、HAMLOG入力ウィンドウや
修正ウィンドウのQSLボタンで、



続いてダウンロード開始をクリックすると
次のメッセージが表示されます。



Ctrl+クリックすると相手局に送ったQSLが表示されます。Shift+クリックすると相手局から届いたQSLが表示されます。

- ・メイン画面の「受信後表示する」を環境設定の受信系に移動し、環境設定の送信系「常にHAMLOG最終レコード番号を設定」をメイン画面に移動した。

Ver4.8 2022/10/25 20:30

- ・ファイル内のバージョン情報を書き換えるのを忘れていたので修正。機能的には10/24版とまったく同じです。

Ver4.8 2022/10/24 9:30

- ・ビギナーモードで[環境設定-QSL送信系](#)のName設定欄の記載内容に
を入れると、その位置で改行して複数行記載できるようにした。

- ・定義ファイル中でJPEGファイルが開けないエラーを修正。

- ・[【HAMLOG】メニュー](#)を改良し、HAMLOG上の該当QSLを1個だけ表示する機能を追加。

- ・[Turbo HAMLOG/Win](#)

[Ver5.37a](#)(2022/10/24)以降に対応し、HAMLOG上のQSLボタンやQSLセルでダブルクリックすると該当QSLが表示されるようにした。

Ver4.7 2022/09/15 6:00

- ・ビギナーモード（定義ファイルを使わない）を次のとおり改良。

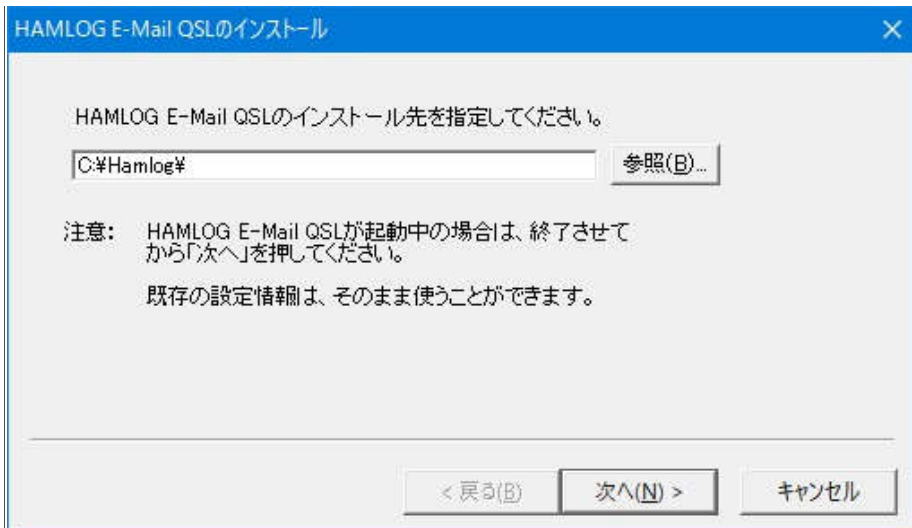
- * 画素数の大きなデジカメ写真をそのまま開いても、画像をリサイズせず、またオリジナルの写真を書き換えることなく、それなりの電子QSLができるようにした。

- * 画素数の大きなデジカメ写真をそのまま開いたときの電子QSLサイズ指定を環境設定に追加。

- * 電子QSL上の自局コールサインの位置をマウスで調整できるようにした。

- * 電子QSL上に自局オペレータ名を追加し、マウスで位置を調整できるようにした。

- * 自局オペレータ名の記載内



容設定は環境設定に追加。

(Name設定)

- ・送信済みQSL一覧で、最下段に未受領の件数を表示するようにした。
- ・受信フォルダ・送信フォルダを変更するとき、確認のメッセージを出すようにした。
- ・ウインドウを初期位置にする、がうまく機能していなかったのを修正